

医療・看護安全対策委員会情報 2009年11月号(No.67)

「静脈ライン内に残在していたシムフェンタニル(アルチバ)による呼吸抑制」

手術終了後、投与が停止した静脈ライン内にアルチバが残在していたため、その後、そのラインを使用した薬剤の投与により意図せずアルチバを投与し呼吸抑制をきたした事例が報告されています。

- ★事例 1 患者が病棟に戻ってからロックした静脈ラインより輸液を開始したら突然患者の呼吸が停止した。
- ★事例 2 輸液ライン内に残在していたアルチバが輸液ボトルの交換により急速に過量投与され意識消失・呼吸停止を起こした。

事例が発生した医療機関では、麻酔を管理する医師はアルチバの投与終了後は輸液ラインにアルチバが残存していないことを確認してから患者を退室させるようにしている。

詳細は、日本医療機能評価機構の下記URLをご参照下さい。

http://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_35.pdf

8年目！

いい医療に向かってゴ～！(11月25日)

医療安全推進週間 11月22日～29日です！

研修や・取り組みの点検などされてみてはどうか？